

南仏治安情報(2010年10月)

■プロヴァンス地方

1. マルセイユのごみ収集業者のストライキが連続放火事件に発展
年金制度改革に反対する動きの一環で、マルセイユ市ではごみ収集業者のストライキにより、市内にゴミが溢れ何週間も放置される事態に発展、下旬にはゴミへの放火事件が相次ぎ付近の車両や商店への延焼が続きました。被害は5区や6区など市中心部に多く、一晩で50件以上放火される日もありました。消防ではごみコンテナやゴミの山の近くへの駐車を避けるよう呼びかけています。次回またごみ収集のストライキが起きた際はご注意ください。
2. マルセイユ市の中学校、高校での治安悪化
マルセイユ市10区のBrochier専門高等学校で10月15日、手作りの爆弾が投げ込まれ負傷者を出す事件がありました。また10月18日には14区のClair-Soleil中学校で、20人近くの若者が学校前で暴動を起こし、爆発物が施設内に投げ込まれました。いずれも安全確保のため学校は閉鎖され、学校職員が治安改善を求めストライキに入っています。
3. ネックレスの引ったくりに改めて注意を
マルセイユ市内では金のネックレスを狙った引ったくりが後を絶ちませんが、10月中にも10件の被害が起きました。犯人は2~4人組で、被害者は女性を中心としており、犯行時間は午後や夜間が多いようです。引き剥がす際に転倒したり、突き倒されて負傷するケースが多く、中には妊娠中の女性や乳児連れの女性も被害に遭っています。くれぐれもご注意ください。
4. テロ行為関与の疑いで12人逮捕
10月5日にブーシュ・デュ・ローヌ県のマルセイユ、Aubagne、Marignane、ガール県のLes Angles、アヴィニオン周辺、ジロンド県ボルドーで、テロ行為関与者12人が逮捕されました。今回の逮捕により、アフガニスタンから帰還したイスラム原理主義者を支援し、テロ活動の資金や人員を確保する動きが明らかになりつつあります。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. ニース市内の犯罪統計
Estrosi ニース市長は市民への防犯意識の向上のため、2010年9月より地方紙などを通じてニース市内での犯罪統計を毎月発表することに決めました。それによると、2010年9月の暴力行為・恐喝・殺人など対人犯罪は1613件と8月の1417件に比べ若干増加傾向にあり、2009年同時期に比べ0.5%の増加を見せています。なお3月より市内に設置された監視カメラにより、検挙数は8月の14件に比べ9月は25件と増え成果を見せているようです。
2. 無差別犯行による凶悪事件

10月6日にマントン市で、30歳代の精神病の男が散歩中の若者3人をチェーンソーで襲い掛かり、更に逃げる若者達を車で追いかける事件がありました。他にも10月10日深夜にアンティープ市内のディスコへ入店を断られた男10人が腹いせのため、付近を通行中の観光客5人をナイフで刺したり殴る蹴るなどの暴行を加える事件が起きています。

3. 金のネックレスを狙った引ったくり

金属価格の高騰を受けここ数ヶ月で多発している金の宝飾品を狙った引ったくりですが、10月中にも地方紙が報じたものだけでニース市内で3件見られています。犯人は未成年者のグループで、道を尋ねたり後ろから肩を叩いたりして被害者に接近し、ネックレスを剥ぎ取る手口が多いようです。マルセイユ市同様、ご注意ください。

4. コルシカ島でのグループ間抗争

10月18日8時30分頃 Ajaccio 市路上で、元民族主義者の Antoine Nivaggioni が暗殺されました。付近には通学中の高校生なども多い中、何者かにより約30発の銃弾を受け死亡しました。被害者男性は Ajaccio 空港の警備会社を営んでいた際の詐欺事件や公金横領などの疑いで、2009年1月に公訴されていました。

■ミディ・ピレネー地方

1. バス運転手への暴力行為、前年より55%増加

トゥールーズ市内を走るバス会社 Tisséo では、運転手に対する罵りや暴力行為が2009年9月から2010年8月までで198件と、前年同時期の128件に比べ55%の増加傾向にあるようです。乗客から直接の暴力を受けるより、走行中に他の乗用車およびバイクの運転手から被害を受けることが多く見られているようです。

2. 金の宝飾品を狙った空き巣が増加

Haute-Garonne 県で起こる空き巣被害の内訳によると、現金と持ち運びが簡単で現金化しやすい装飾品が主に狙われているようです。中でも昨年はキロ当たり2万ユーロだった純金価格は、現在3万1千ユーロを超えているため、特によく盗まれているようです。

3. 工事現場や企業への金属泥棒が頻発

金属価格高騰を受け、トゥールーズ市を始め Haute-Garonne 県では、工事現場や建築会社の約半数が材料や部品、機材などの盗難の被害に遭っているようです。10月初旬にはトゥールーズ市の会社が夜間に3トン近くの部品を盗まれたり、Carbonne 市で嚴重に武装した複数人の男達に貴金属加工会社の社員が脅される大規模の強盗事件がありました。

4. 蚊の大発生に対する注意喚起

チキングニヤ熱やデング熱を媒介する蚊(通称 Moustique-Tigre)は、ここ数年地中海沿岸で広がりを見せており、未だ発生が確認されていないラングドック・ルシヨン地方でも、注意喚起がなされています。秋から冬にかけて溜まり水に産み付けられた卵は冬を越し、翌年3~5月に大発生する元となります。植木鉢や古タイヤ、庭に放置されたおもちゃなどに水が溜まらないよう心がけてください。

■その他テロリスト関連記事

1. アルカイダからフランス国民への声明

10月27日にアルカイダ代表 Oussama ben Laden がフランスに対し声明を発表しました。これはアフガニスタンに3750人のフランス人兵士が駐在すること、公共の場でのイスラム教スカーフを全面禁止する法案が9月14日に可決されたことを受けて、フランス国内でのテロの可能性をにおわせる声明となっています。また今回の声明の中では、フランス人の人質を5人取ったことについても正当化しています。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。